蓬田岳

蓬田小学校だより

たすきをつなぐ3学期

1月9日(火)、52日間の3学期がスタートし、一週間が過ぎました。

今年、最初の行事は、蓬田小学校伝統の**「新春書き初め大会・席書き」**です。

蓬田小学校の「新春書き初め大会」は2011年から開始されました。

「書き初め」は、日本の伝統的な行事ですが、大切なことは、上手・下手ではなく、気持ちを落ちつかせて自分の心と向き合うことが大事です。そして、目標・決意を固めることが大切です。

伝統の「席書き」 初回は 2011年

全校児童と保護者、さらには蓬田こども園の園児に見守られる中、多目的ホールで実施する「席書き」は学校の目標や決意をみんなで確かめ合うために行われるものです。

今年の席書き(せきがき)の文字は、次の文字です。

「立ち上がろう 何度でも 夢は かなう 心をひとつに 蓬田っ子」

この文字には、蓬田小学校の児童一人一人が、失敗しても、何度でも立ち上がり挑戦するという願いが込められています。

みんなで心を一つにして、夢や目標に向かって、模造紙を目一杯に使って大きな筆で書き上げました。

ダイナミックな作品を仕上げた紙に、子どもたちの「夢」が叶えられるよう指導してきましたので、本年もよろしくお願いします。

平田村立蓬田小学校発行
２０１８年
(平成２９年度)
１月１６日(火)
第１８号
学校ＴＥＬ
５５－２００４
発行者 相樂正弘

先人に学ぶ

冬休み期間に今から82年前永田尋常小学校の校長先生が宗像金吾さんについてまとめた資料を読む機会がありました。その中には、金吾さんの「マラソン」への考え方が書かれていました。

彼は、マラソンは「人生」と言っています。彼は農作業をするのも草鞋(わらじ)を作るにも他の人よりとても遅かったそうです。自分が器用でないことや他の人より余計に働かなければ追いつかないことを悟ったそうです。すなわち長距離選手のように長い時間をかけてなし遂げる必要があると悟ったそうです。そしてなんと五十歳の年からマラソンの練習を始めたそうです。

私は逆に若くなるつもりでやっても若い人と等しいのです。

何を―体力―

―心力―があるとの自信に充ちて働きたいのです。

私のマラソンは私の生活の難しい問題にも逃げる事なく、猛烈に挑戦し、猛烈に挑戦していると頭が自然に浮かびます。

挑戦するのです。

猛烈に挑戦すると解決の閃きが自然に浮かびます。

要するに

「体力」「心力」「努力」これですね！(※心力とは、精神力のこと)

子ども達の活躍

昨年末に『福島県児童画展』において、県の第２位に相当する賞を受賞いたしましたので紹介します。

○特賞(県２位)
２年 デイニアイ・イチロウ・カワヤン君

安全確保のお願い!!

学校では、大切な子ども達の命を守り、安全で楽しい学校生活を送らせたいと考えています。そのため、事故防止のために、お子さんを送迎する全ての方(保護者・祖父母の皆様等)に、**登校時・下校時に職員駐車場への乗り入れを行わないようにお願いします。**(病気やけが等の諸事情がある場合は別です。)

今後、降雪の時期となるため、道路が狭くなります。**特に、舘山公園側での降車や駐停車は非常に危険です。絶対に車を止めないでください。**

A，B，Cのいずれかの場所で降ろしてください